

毎月11日掲載

防災・減災のページ

巡回ワークショップ @ 仙台市宮城野区 南蒲生町内会

むすび塾

「防災で怖い思いをしたのはな...」
 ので、避難所の参加者が及...
 なさい。避難所を卒業する...
 をおぼかして、防災の大切を痛...
 しく感じてほしい。」
 1000名(約1万人)に起きた...
 避難所出火の被災地めぐり取組...
 みが発表された。南蒲生町内会...
 館(仙台市宮城野区)の副館長

住民の結束 風化防ぐ



南蒲生地区全景 (小型機撮りヘリで撮影)

南蒲生地区は、震災後、大規模な津波被害を受け、多くの住民が避難所生活を余儀なくされた。町内会は、住民の結束を維持し、防災意識を高めるために、巡回ワークショップを開催した。

田園広がる「新しい田舎」
 震災後、田舎暮らしがブームとなり、南蒲生地区にも多くの移住者が訪れている。町内会は、移住者にも防災意識を伝えるために、巡回ワークショップを開催した。



避難や震災伝承に課題
 南蒲生は旧藩の料地帯。震災は4世紀の津波で大被害を受けた。町内会では、地域再生に取り組む。2012年に「復興まちづくり」を掲げ、新しい田舎づくりを推進している。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。

毎年、小学生を対象に防災教室を開き、防災意識を高める。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。



参加者は地域の防災課題を付箋に書き出し、今後の備えや震災伝承について話し合った。震災では甚大な津波被害を受けたが、町内会では結束して地域再生に取り組む



減災・復興支援機構専務理事 宮下 加奈さん

宮下 加奈さん
 史を勉強し、体験した。再びあった対象者相手...
 活動を、体験した。再びあった対象者相手...
 活動を、体験した。再びあった対象者相手...

■むすび塾に参加して

宮城野区 南蒲生町内会

【津波の記憶】南蒲生は松林と山形である。津波被害を受け、多くの住民が避難所生活を余儀なくされた。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。

南蒲生町会会長・藤城 さん(76)

【車の避難】車で避難するとき、津波は水に浮かぶ。車を避難させるには、事前に避難場所を確認しておく必要がある。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。

南蒲生町内会副会長・松浦 さん(73)

【車の避難】車で避難したとしても、津波は水に浮かぶ。車を避難させるには、事前に避難場所を確認しておく必要がある。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。

南蒲生町内会防犯部長・佐藤 さん(69)

【震災の伝承】防火ラッパが、震災時の体勢をまね、発表した。今は地帯で震災伝承を推進している。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。

防火ラッパ会長・佐藤 さん(67)

【非常時の備え】足指避難所がない場合、わが家では、おぼろげと、避難所を指定し、住民にも伝えておく必要がある。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。

防火ラッパ後援・熊野 江さん(66)

【震災の伝承】震災伝承は、町内会が中心となって行っている。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。

町内会副会長・田中 さん(43)

【津波の備え】津波は水に浮かぶ。車を避難させるには、事前に避難場所を確認しておく必要がある。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。町内会では、避難や震災伝承に課題を感じている。

南蒲生町内会副会長・阿部 さん(65)

若者巻き込み地域活動を